

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	ダイヤモンドペーパー のり付
会社名	株式会社MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
緊急連絡電話番号	所在地と同じ
推奨用途	木材、ガラスなどの研磨に使用
使用上の制限	推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家/化学物質 専門家等の判断を仰ぐこと。
整理番号	M260109

2. 危険有害性の要約  
化学品のGHS分類

健康有害性	呼吸器感作性 区分1 皮膚感作性 区分1 発がん性 区分2 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1(消化器) 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(呼吸器 腎臓)  特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激性)  特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(呼吸器) 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分 類できない。
-------	---

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ H334 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を 起こすおそれ H335 呼吸器への刺激のおそれ H351 発がんのおそれの疑い H370 消化器の障害 H371 呼吸器、腎臓の障害のおそれ H373 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害 のおそれ

注意書き  
安全対策

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
(P202)  
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこ  
と。(P260)  
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避け  
ること。(P261)  
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
(P270)

屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。(P271)

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。  
(P280)

呼吸用保護具を着用すること。(P284)

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。  
(P302+P352)

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。  
(P308+P311)

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。(P308+P313)

気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)

気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。  
(P314)

特別な処置が必要である。(P321)

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。(P333+P313)

呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。  
(P342+P311)

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
(P403+P233)

施錠して保管すること。(P405)

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

応急措置

保管

廃棄

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
銅	90.94%	Cu	不明	不明	7440-50-8
ニッケル	4.53%	Ni	不明	不明	7440-02-0
炭素	4.53%	C	不明	不明	7440-44-0

4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪くなった場合は、新鮮な空気のある場所へ移動してください。気分不良や咳が出る場合は、医師の診察を受けてください。

摂取後の対応

飲み込んだ場合、吐き出させる。直ちに医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

物質または混合物に起因する特別な危険性

火災の危険性はないと考えられる。火によって容易に発火しない。

消火剤

粉末消火剤、化学泡消火剤、二酸化炭素消火剤、水噴霧消火剤。

消防士への助言

あらゆる火災と同様に、自給式呼吸器(MSHA/NIOSH認定品または同等品)及び全身防護服を着用すること。十分な防護を施し、安全な距離から消火活動を行うこと。消火用水が地表水や地下水システムを汚染しないようにすること。

有害燃焼生成物

データなし

## 6. 漏出時の措置

個人用予防措置、保護具及び緊急時手順

目に入らないようにすること。十分な換気を確保すること。すべての着火源を除去すること。人員を安全な区域へ避難させる。流出・漏洩の風上側に人を近づけない。適切な保護措置を講じる(第8項参照)。

環境上の注意

排水溝に流さないでください。製品が湖、河川、下水道を汚染した場合は、地域の規制に従い関係当局に報告してください。

洗浄方法

物理的方法で除去する。廃棄物/汚染物質の処分についてはセクション13を参照のこと。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

火気及び高温を避けること。室内換気または局所排気装置を維持すること。

保管

火気及び高温を避けて保管すること。涼しく換気の良い場所に保管すること。適合容器に保管すること。保管容器は密閉すること。食品容器や適合しない物質(セクション10.2参照)と一緒に保管しないでください。

## 8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
銅	未設定	未設定	設定あり
ニッケル	未設定	1mg/m3	設定あり
炭素	未設定	【粉塵許容濃度】(第1種粉塵) 吸入性粉塵0.5mg/m3 総粉塵2mg/m3	未設定

	厚生労働大臣が定める濃度の基準	
	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値/天井値
銅	未設定	未設定
ニッケル	1mg/m3	-
炭素	未設定	未設定

職業暴露限界値

該当情報なし

技術的制御

製造中は物質を密閉し、室内換気を確保すること。

呼吸用保護具

フィルターマスクを着用すること。

眼の保護

保護メガネを着用すること。

手保護

保護手袋を着用すること。

衛生対策

作業場での喫煙、飲食を禁止する。製品取扱後は手洗いを行うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態  
形状  
色  
臭い  
融点／凝固点  
沸点又は初留点及び沸点範囲  
可燃性  
爆発下限界及び爆発上限界 下限  
／可燃限界  
上限  
引火点  
自然発火点  
分解温度  
pH  
動粘性率  
溶解度  
n-オクタノール／水分配係数  
  
蒸気圧  
密度及び／又は相対密度  
相対ガス密度  
粒子特性

固体  
固体  
銀色  
無臭  
データなし  
データなし  
  
不燃性  
データなし  
  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
水に不溶  
データなし  
  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし

10. 安定性及び反応性

反応性  
化学的安定性  
危険有害反応可能性  
避けるべき条件  
  
混触危険物質  
危険有害な分解生成物  
その他のデータ

情報なし  
通常の保管・取り扱いでは安定している。  
情報なし  
強酸化物、強酸、強アルカリ。  
高温を避ける  
情報なし  
情報なし  
保管上の注意：涼しく換気の良い場所に保管すること。適合容器に保管すること。保管容器は密閉すること。

室内換気または局所排気装置を維持すること

11. 有害性情報

急性毒性  
経口  
  
経皮  
吸入  
  
皮膚腐食性／皮膚刺激性  
眼に対する重篤な損傷性／  
眼刺激性  
呼吸器感作性  
皮膚感作性  
生殖細胞変異原性  
発がん性  
生殖毒性

急性毒性推定値が5000mg/kg超のため区分に該当しないとした。  
毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。  
データ不足のため分類できない。  
(気体)  
GHS定義による気体ではない。  
(蒸気)  
データ不足のため分類できない。  
(粉じん・ミスト)  
データ不足のため分類できない。  
データ不足のため分類できない。  
データ不足のため分類できない。  
  
区分1の成分が4.53%のため、区分1とした。  
区分1の成分が4.53%のため、区分1とした。  
データ不足のため分類できない。  
区分2の成分が4.53%のため、区分2とした。  
(生殖毒性)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)		データ不足のため分類できない。 (生殖毒性・授乳影響)
		データ不足のため分類できない。
		区分1(消化器)の成分が90.94%のため、区分1(消化器)とした。
		区分1(呼吸器)の成分が4.53%のため、区分2(呼吸器)とした。
		区分1(腎臓)の成分が4.53%のため、区分2(腎臓)とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		区分3(気道刺激性)の成分合計が90.94%のため、区分3(気道刺激性)とした。
		区分1(呼吸器)の成分が4.53%のため、区分2(呼吸器)とした。
誤えん有害性		動粘性率が不明のため、分類できないとした。
12. 環境影響情報		
水生環境有害性 短期(急性)		(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。
		毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
水生環境有害性 長期(慢性)		(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。
		毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
生態毒性		データなし
残留性・分解性		データなし
生体蓄積性		データなし
土壤中の移動性		データなし
オゾン層への有害性		データ不足のため分類できない。
13. 廃棄上の注意		
廃棄物の処理方法		廃棄物は地域の規制に従って処理してください。地域の法令で指定されている廃棄物処理業者、または推奨されている業者に連絡してください。
未洗浄包装の処理方法		公的規制に従ってください。
14. 輸送上の注意		
国際規制	海上規制情報	非該当
	Marine Pollutant	Not applicable
	Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annex II, the IBC Code	Not applicable
国内規制	航空規制情報	非該当
	海上規制情報	非該当
	海洋汚染物質	非該当
	MARPOL 73/78 附属書Ⅱ 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
	航空規制情報	非該当
緊急時応急措置指針番号		なし

取扱い上の注意

衝撃・衝突・引きずり・投棄を防止すること。酸化防止剤及び食品添加物との混載を禁止。輸送時は日光・火気・雨・高温を避けること。

15. 適用法令  
労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第3号別表第9)

ニッケル及びその化合物

銅及びその化合物

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号、第3号別表第9)

ニッケル及びその化合物(令別表第9の番号:24)(5%未満)(営業秘密)

銅及びその化合物(令別表第9の番号:22)(90%以上)(営業秘密)

皮膚等障害化学物質等・皮膚刺激性有害物質(安衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発0531第9号、令和7年11月18日告示第301号・第1号、厚生労働省HP皮膚等障害化学物質の一覧)

ニッケル

銅

労働安全衛生法(表示・通知対象物質、がん原性物質)  
(令和8年施行分)

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第3号別表第9)

ニッケル及びその化合物

銅及びその化合物

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号、第3号別表第9)

ニッケル及びその化合物(令別表第9の番号:24)(5%未満)(営業秘密)

銅及びその化合物(令別表第9の番号:22)(90%以上)(営業秘密)

労働安全衛生法(表示・通知対象物質、がん原性物質)  
(令和9年施行分)

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第3号別表第9)

ニッケル及びその化合物

銅及びその化合物

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号、第3号別表第9)

ニッケル及びその化合物(令別表第9の番号:24)(5%未満)(営業秘密)

銅及びその化合物(令別表第9の番号:22)(90%以上)(営業秘密)

毒物及び劇物取締法  
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

非該当

第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)

ニッケル(管理番号:308)(4.5%)

指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)

生活環境汚染項目(法第2条、施行令第3条、排水基準を定める省令第1条別表第2)

水質汚濁防止法

大気汚染防止法

有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質（中央環境審議会第9次答申）

外国為替及び外国貿易法

輸出貿易管理令別表第1の2項

輸出許可貨物・補完品目（キャッチオール規制）（法第48条第1項、輸出令第1条別表第1の16の項（2））

水道法

有害物質（法第4条第2項）、水質基準（平15省令101号）

下水道法

水質基準物質（法第12条の2第2項、施行令第9条の4）

労働基準法

疾病化学物質（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1）

がん原性化学物質（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第7号）

## 16. その他の情報

参考文献

製造元メーカー提供資料

NITE GHS分類結果一覧

JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法

JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）

経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス

化学品ドキュメント管理プラットフォーム(CDPF) SDS作成システム「ChemValue.AUTHOR」により作成

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。あくまでも参考情報として提供するものであります。

また、注意事項は通常の実施を前提としたもので、特殊な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全策を実施の上、ご利用ください。この情報は、新しい情報を入手した場合、予告なしに改訂されることがあります。